

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3	1	必修
担当教員			
炭原 加代、新增 有加、森川 真美			
木1、2			
添付ファイル			

科目の概要	妊娠・分娩・産褥・新生児期の母子および家族への看護を展開する上で必要なウェルネス看護診断や、母性看護過程の展開方法について講義する。 また妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族に対する生活援助や保健指導の必要性を解説し、基本的な母性看護技術を受講生が習得することを目指す。		
授業の内容	第1回	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等）、ウェルネス看護診断について（解説） 授業前、シラバスを読んでおくこと。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」を必ず持参すること。	
	第2回	看護過程の展開① 初産婦 授業前、「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」p.70～88を読み、用語や基準値の復習を行う。 授業中、初産婦の母子事例の看護過程の展開を受講生各自で行う。教員は個別サポートを行う。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第3回	看護過程の展開① 初産婦（解説） 授業前、前回授業のレポートを仕上げ持参する。 授業中、教員が初産婦の母子事例について解説を行う。受講生は各自のレポートに追加修正を行い、授業終了時に提出する。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第4回	看護過程の展開② 経産婦 授業前、褥婦の観察ポイント・新生児の観察ポイント（別紙）を用いて、用語や基準値の整理を行う。 授業中、経産婦の母子事例の看護過程の展開を受講生各自で行う。教員は個別サポートを行う。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第5回	看護過程の展開② 経産婦（解説） 授業前、前回授業のレポートを仕上げ持参する。 授業中、教員が経産婦の母子事例について解説を行う。受講生は各自のレポートに追加修正を行い、授業終了時に提出する。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第6回	看護過程の展開③ 帝王切開術後 授業前、「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」p.103～112を読み、用語や基準値の復習を行う。 授業中、帝王切開術後の母子事例の看護過程の展開を受講生各自で行う。教員は個別サポートを行う。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第7回	看護過程の展開③ 帝王切開術後（解説） 授業前、前回授業のレポートを仕上げ持参する。 授業中、教員が帝王切開術後の母子事例について解説を行う。受講生は各自のレポートに追加修正を行い、授業終了時に提出する。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第8回	看護過程の展開④ 妊婦 授業前、「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」p.32～44を読み、用語や基準値の復習を行う。 授業中、妊婦事例の看護過程の展開を受講生各自で行う。教員は個別サポートを行う。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第9回	看護過程の展開④ 妊婦（解説） 授業前、前回授業のレポートを仕上げ持参する。 授業中、教員が妊婦事例について解説を行う。受講生は各自のレポートに追加修正を行い、授業終了時に提出する。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	
	第10回	看護過程の展開⑤ 産婦 授業前、「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」p.55～69を読み、用語や基準値の復習を行う。 授業中、産婦事例の看護過程の展開を受講生各自で行う。教員は個別サポートを行う。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。	

	<p>第11回 看護過程の展開⑤ 産婦（解説） 授業前、前回授業のレポートを仕上げ持参する。 授業中、教員が産婦事例について解説を行う。受講生は各自のレポートに追加修正を行い、授業終了時に提出する。 教科書「ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程」「母性看護学各論」、2年生の講義資料（母性看護学援助論など）を必ず持参すること。</p> <p>第12回 技術演習（妊産褥婦） 教科書「ナースィング・グラフィカ 母性看護技術」を必ず持参すること。 実習着に更衣し、5号館2階の実習室に集合。 第12回と第13回は、同日に連続2コマで行う。 AクラスとBクラスは、別日程で行う。</p> <p>第13回 技術演習（妊産褥婦） 教科書「ナースィング・グラフィカ 母性看護技術」を必ず持参すること。 実習着に更衣し、5号館2階の実習室に集合。 第12回と第13回は、同日に連続2コマで行う。 AクラスとBクラスは別日程で行う。</p> <p>第14回 技術演習（新生児） 教科書「ナースィング・グラフィカ 母性看護技術」を必ず持参すること。 実習着に更衣し、5号館2階の実習室に集合。 第14回と第15回は、同日に連続2コマで行う。 AクラスとBクラスは別日程で行う。</p> <p>第15回 技術演習（新生児） 教科書「ナースィング・グラフィカ 母性看護技術」を必ず持参すること。 実習着に更衣し、5号館2階の実習室に集合。 第14回と第15回は、同日に連続2コマで行う。 AクラスとBクラスは別日程で行う。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>①妊娠・分娩・産褥・新生児期の看護過程の展開方法について理解できる ②妊娠・分娩・産褥・新生児期に必要な看護技術が習得できる</p>
授業の方法	<p>・第1～11回は、ウェルネス看護診断や母性の看護過程の展開方法について講義形式や課題学習、個別指導を行う。 ・第12～15回は、実習室でモデルを使用し、母性看護学実習で必須の技術項目を中心に技術演習を行う。</p>
成績評価の方法	課題レポート50%、定期試験50%
教科書・テキスト	<p>太田操 ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程 第3版 医歯薬出版 横尾京子他 ナースィング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護技術 メディカ出版 森恵美他 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学2 医学書院</p>
参考書	<p>前原澄子 新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅰ 中央法規 前原澄子 新看護観察のキーポイントシリーズ 母性Ⅱ 中央法規 佐世正勝他 ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第2版 医学書院 平澤美恵子他 写真でわかる母性看護技術 インターメディカ 櫛引美代子 カラー写真で学ぶ新生児の観察と看護技術 第2版 医歯薬出版 櫛引美代子 カラー写真で学ぶ周産期の看護技術 第2版 医歯薬出版 櫛引美代子 カラー写真で学ぶ妊産褥婦のケア 第2版 医歯薬出版</p>
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	<p>母性看護学概論・母性看護学援助論で学習した内容を基に授業を行うため、過去に学習した内容を復習しておく。 事前課題「褥婦の観察ポイント」「新生児の観察ポイント」を自分なりにまとめ、毎回の授業に持参する。 授業前は教科書を読み予習し、授業終了後は課題を行う（詳細は授業の内容を参照）。</p>
履修上の留意事項	母性看護学実習に必要な知識や技術の習得を目指すため、課題や技術演習には積極的に取り組むこと。
オフィスアワー	水曜日10時～16時
課題に対するフィードバックの方法	提出課題の添削、遠隔（Zoom）での個別指導など
実務経験	病院勤務助産師8年、看護系大学教員10年（新增）
その他	